メールエイリアスサービスにおいて Gmail などの一部サービスへの転送ができない問題について

メールエイリアスサービスで Gmail などを転送先アドレスに指定している場合、以下のような内容のエラーメールが送信者に返送される場合があります。

<xxxx@gmail.com> (expanded from <xxxx@nagoya-u.jp>): host
gmail-smtp-in.l.google.com[142.250.157.27] said: 550-5.7.26 This message
does not have authentication information or fails to 550-5.7.26 pass
authentication checks. To best protect our users from spam, the 550-5.7.26
message has been blocked. Please visit 550-5.7.26
https://support.google.com/mail/answer/81126#authentication for more 550
5.7.26 information. e00-00000000000000000000000000000000000000000000.000 -
gsmtp (in reply to end of DATA command)

これは実際にメールが送信されたサーバと、メールエイリアスサービスでメールを転送しているサーバが異なるため、送信元ドメイン認証の検証に失敗した、あるいは送信元ドメイン認証に関する設定がされていないため、なりすましメールの可能性があると判断され、Gmail により受信を拒否されたことを示しています。

エモテットの再流行により行われたと思われるセキュリティ強化に起因すると本問題について、今年 3 月頃から問い合わせが増えており、こちらでも対応策を検討いたしましたが、転送サーバ側で可能な対応策は見つかっていません。

Gmail の他には Yahoo!メール、iCloud でも同様の問題が発生する場合があるようです。

メール送信者からこのような問い合わせがあった場合は、他のメールアドレスへの送信を依頼するか、メールエイリアスサービスでの転送先を、異なるメールアドレスに変更することを検討ください。

注:送信元ドメイン認証はメールの From アドレスのドメイン名（ホスト名）が DNS で送信元として宣言されている SPF(Sender Policy Framework)と、メールの内容を元にデジタル署名を付与し、DNS で宣言している公開鍵で送信元のなりすましや内容の改ざんが無いことを保証する DKIM(DomainKeys Identified Mail)といったメール送信者を保証する技術です。